

財務諸表に対する注記(一般会計)

1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 引当金の計上基準

・賞与引当金……賞与支給見込額の当年度負担額を計上している。

・退職給付引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

2 表示方法の変更

(正味財産増減計算書)(キャッシュ・フロー計算書)

前会計年度において、事業費のうち「国際交流推進事業支払助成金(支出)」は、当会計年度より「駐在員型職員受入事業費(支出)」として表示している。

また、「消耗品費(支出)」に含めて表示していた「新聞図書費(支出)」、「賃借料(支出)」に含めて表示していた「事務所管理費(支出)」及び「諸謝金(支出)」に含めて表示していた「手数料(支出)」は、当会計年度より区分掲記している。

なお、前会計年度に「消耗品費(支出)」に含めて表示した「新聞図書費(支出)」の金額は正味財産増減計算書の事業費で10,200,548円、キャッシュ・フロー計算書の事業費で10,663,942円、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書とも管理費で4,176,289円、「賃借料(支出)」に含めて表示した「事務所管理費(支出)」の金額は正味財産増減計算書の事業費で19,724,650円、キャッシュ・フロー計算書の事業費で20,405,138円、正味財産増減計算書の管理費で20,782,140円、キャッシュ・フロー計算書の管理費で22,274,249円、「諸謝金(支出)」に含めて表示した「手数料(支出)」の金額は正味財産増減計算書の事業費で16,590,548円、管理費で2,482,788円である。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
海外事務所開設準備等積立資産				
普通預金	2,344,049,000	0	34,352,000	2,309,697,000
定期預金	584,000,000	400,000,000	0	984,000,000
投資有価証券	6,399,180,894	800,833	3,400,000,000	2,999,981,727
小 計	9,327,229,894	400,800,833	3,434,352,000	6,293,678,727
合 計	9,427,229,894	400,800,833	3,434,352,000	6,393,678,727

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	(5,000,000)	(95,000,000)	-
小 計	100,000,000	(5,000,000)	(95,000,000)	-
特定資産				
海外事務所開設準備等積立資産				
普通預金	2,309,697,000	(0)	(2,309,697,000)	-
定期預金	984,000,000	(0)	(984,000,000)	-
投資有価証券	2,999,981,727	(0)	(2,999,981,727)	-
小 計	6,293,678,727	(0)	(6,293,678,727)	-
合 計	6,393,678,727	(5,000,000)	(6,388,678,727)	-

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	274,867,143	116,568,005	158,299,138
什器備品	154,191,942	111,745,650	42,446,292
リース資産	17,786,984	3,569,646	14,217,338
ソフトウェア	3,167,745	2,480,332	687,413
合 計	450,013,814	234,363,633	215,650,181

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
特定資産			
千葉県公募公債	900,000,000	905,130,000	5,130,000
静岡県公募公債	200,000,000	201,160,000	1,160,000
神奈川県公募公債	699,993,352	703,710,000	3,716,648
兵庫県公募公債	600,000,000	603,000,000	3,000,000
川崎市公募公債	599,988,375	603,420,000	3,431,625
合 計	2,999,981,727	3,016,420,000	16,438,273

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	1,499
合 計	1,499

8 ファイナンス・リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1) リース資産の内容

什器備品

本部におけるLANシステムサーバー、コンピューター、複合コピー機

9 資産除去債務関係

当法人は、賃貸用事務所について建物所有者との間で不動産賃借契約を締結しており、賃借期間の終了時に原状回復する義務を有しているため、契約の義務に関して資産除去債務を計上している。

また、敷金を差入れている賃借契約については、資産除去債務の負債の計上に変えて、不動産賃借契約に関連する敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用に計上している。この見積りにあたり、使用見込期間はそれぞれ5年2カ月から7年9カ月を採用している。

当会計年度において、敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額として算定した金額は56,768,302円である。

資産除去債務の見積りにあたり、使用見込期間は6年から10年、割引率は3.17%から3.28%を採用している。

当会計年度における資産除去債務の残高の推移は次のとおりである。

期首残高	25,273,160 円
会計基準適用による期首調整額	0
有形固定資産の取得に伴う増加額	4,917,852
時の経過による調整額	600,841
資産除去債務の履行による減少額	10,310,715
当会計年度末残高	20,481,138

10 関連当事者との取引の内容

該当なし。

11 重要な後発事象

該当なし。

財務諸表に対する注記(外国青年招致事業特別会計)

1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(2) 引当金の計上基準

・賞与引当金……賞与支給見込額の当年度負担額を計上している。

・退職給付引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

2 表示方法の変更

(正味財産増減計算書)(キャッシュ・フロー計算書)

前会計年度において、「消耗品費(支出)」に含めて表示していた「新聞図書費(支出)」、「賃借料(支出)」に含めて表示していた「事務所管理費(支出)」及び「諸謝金(支出)」に含めて表示していた「手数料(支出)」は、当会計年度より区分掲記している。なお、前会計年度に「消耗品費(支出)」に含めて表示した「新聞図書費(支出)」の金額は正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書とも事業費で4,916円、管理費で267,756円、「賃借料(支出)」に含めて表示した「事務所管理費(支出)」の金額は正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書とも管理費で5,195,532円、「諸謝金(支出)」に含めて表示した「手数料(支出)」の金額は正味財産増減計算書の事業費で3,401,168円である。

3 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什 器 備 品	3,876,338	3,801,542	74,796
リ ー ス 資 産	8,893,492	1,784,823	7,108,669
合 計	12,769,830	5,586,365	7,183,465

3 ファイナンス・リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1) リース資産の内容

什器備品

本部におけるLANシステムサーバー、コンピューター、複合コピー機

4 関連当事者との取引の内容

該当なし。

5 重要な後発事象

該当なし。